

# 公園の風景

## =ツバメの子育て=

今年も駐車場近くのトイレにツバメが巣を造り5月下旬 4羽のヒナが孵りました。親ツバメはせっせと餌を運び、子ツバメはわれ先に餌をもらおうと大きな口を開けます。親は一番大きな口を開けたヒナに餌を入れてやります。子ツバメたちはいかに自分が空腹かをアピールするため一生懸命口を開け続けるのです。親ツバメが再び餌を捕りに巣から飛び去ると、子ツバメたちはとたんにおとなしくなります。その落差が微笑ましいかぎりです。約 20 日のあいだ親から餌をもらって成長し巣立ちます。巣立ち後しばらくは幼鳥たちだけで行動し、巣の近くの本などに止まって親が餌をもってきてくれるのを待っています。子ツバメが全員完全に親離れするまで親ツバメは気が抜けません。



## =カイツブリ抱卵中=

淡水池でカイツブリが浮巢を造って、ただ今抱卵中です。孵化は6月上旬の予定ですが、約 20 日の抱卵期間を経てかわいい雛が誕生すると、親を追いかけて鳴く声がとても賑やかになります。

今年も2組のペアが子育てに励んでいます。

## =新女王誕生=

5月31日、新しい女王が誕生しました。公園にいるミツバチの事です。午前9時半過ぎ、ヤマハギの細い枝に集まり始めたミツバチたちは一時団子状に重なり、その重みに耐えかねて枝が折れるほどの数でした。

生まれた卵の中で女王となる卵はローヤルゼリーがふんだんに与えられます。その女王候補が成長すると旧女王は巣の半数の働きバチを連れて古巣を離れます。これをハチの分封といいます。巣が増えて、また来年の春まつりにむけてたくさんのハチミツが採れるように頑張ってもらいたいです。

